

請 負 契 約 書

請負の表示 奈良先端大清掃業務 一式

請負代金額 金 円 に消費税額及び地方消費税額を加えた額

上記消費税及び地方消費税の額は、消費税法第28条第1項及び第29条並びに地方税法第72条の82及び第72条の83の規定に基づき得た額である。

発注者 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 と受注者 との間において、上記の請負（以下「業務」という。）について、上記の請負代金額で次の条項により請負契約を結ぶものとする。

- 第1条 受注者は、別冊の仕様書、図面及び受注者が入札に際し提出した作業計画書その他の書類に基づいて業務を履行するものとする。
- 第2条 業務は、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学構内において行うものとする。
- 第3条 業務期間は、令和8年4月1日から令和11年3月31日までとする。
- 第4条 業務完了通知書は、毎月の業務完了後、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学管理部施設課に送付し検収を受けるものとする。
- 第5条 請負代金は、月毎に支払うものとし、内訳は別紙のとおりとする。
- 第6条 受注者は、本契約の内容が適正に履行された旨の確認を受けたのち、請負代金の支払を請求することができるものとし、発注者は、受注者から適正な請求書を受領した日の属する月の翌月末日までに支払うものとする。
- 第7条 請負代金の請求書は、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学管理部施設課に送付するものとする。
- 第8条 受注者は、業務を行うにあたっては、常に災害、事故防止に留意し、特に必要があると認めるときは、臨機の措置をとるようにしなければならない。
- 2 受注者は、前項の措置をしようとするときは、あらかじめ発注者に対しその意見を求めなければならない。ただし事態が緊急でそのいとまのないときはこの限りではない。
- 3 受注者は、第1項の措置をとったときは、直ちにその旨を発注者に通知しなければならない。
- 4 発注者は、災害、事故防止その他業務実施上必要があると認めるときは、受注者に対し所要の臨機の措置を取るべきことを要求することができるものとする。
- 5 受注者は、前項の要求があったときは、直ちにこれに応じなければならない。
- 6 第1項及び前項の措置のために要した経費は、受注者が負担するものとする。ただし、当該経費を受注者が負担することが著しく不適当であると認められるときは、発注者受注者間において協議し、発注者においてその全部又は一部を負担するものとする。
- 第9条 受注者は、業務実施の際に建物及び器物等を損傷又は発注者の所有する物品等を紛失しないよう、善良な管理者の注意を以て業務を実施するものとする。
- 第10条 受注者は、前条の注意義務を怠り、建物及び器物等を損傷又は発注者の所有する物品等を紛失したときは、賠償の責を負うものとする。
- 2 前項の賠償額は、損害の度合いにより発注者の定める額とする。
- 第11条 受注者は、業務の実施にあたって発注者及び第三者に損害を与えたときは、賠償する責を負うものとする。ただし、発注者の責に帰すべき事由により生じた損害については、発注者がその責を負うものとする。
- 第12条 受注者は、この契約履行において知り得た発注者の業務に関する一切の事項及びいかなる情報をも、第三者に遺漏し、又は利用してはならない。
- 第13条 受注者は受託業務を第三者に再委託してはならないものとする。
- 第14条 発注者は、次の各号のいずれかに該当する事由が生じたときは、この契約を解除することができるものとする。
- 一 受注者が正当な理由なく、この契約の全部又は一部を履行しないとき。
- 二 この契約の履行について、受注者に不正・不当な行為があったとき。
- 三 受注者が、この契約を履行する能力を失ったことが明らかに認められるとき。
- 四 前各号のほか、受注者がこの契約に違反したとき。
- 第15条 清掃作業員の控室として、本学指定の場所を無償で使用できるものとする。
- 第16条 清掃面積に増減があり、請負代金額に変更が生じた場合は、契約期間の最終月において変更契約を行うものとする。
- 第17条 契約保証金は、金 円とする。
- ただし、金融機関等の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。
- 第18条 この契約について必要な細目は、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学が定めた役務請負契約基準によるものとする。
- 第19条 この契約に関する訴えの管轄は、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学所在地を管轄区域とする奈良地方裁判所とする。
- 第20条 この契約に定めのない事項について、これを定める必要がある場合は、発注者受注者間において協議して定めるものとする。

令和 年 月 日

受 注 者

月別支払額内訳書（令和８年度）

月 別		請負代金額（消費税抜き）
日常清掃	4 月	円
日常清掃	5 月	円
日常清掃	6 月	円
日常清掃	7 月	円
日常清掃	8 月	円
日常清掃	9 月	円
日常清掃	10 月	円
日常清掃	11 月	円
日常清掃	12 月	円
日常清掃	1 月	円
日常清掃	2 月	円
日常清掃	3 月	円

※上記金額に、消費税額及び地方消費税額を加えた額とする。（消費税額及び地方消費税額は消費税法第２８条第１項及び第２９条並びに地方税法第７２条の８２及び第７２条の８３の規定に基づき得た額である。）

月別支払額内訳書（令和９年度）

月 別		請負代金額（消費税抜き）
日常清掃	4 月	円
日常清掃	5 月	円
日常清掃	6 月	円
日常清掃	7 月	円
日常清掃	8 月	円
日常清掃	9 月	円
日常清掃	10 月	円
日常清掃	11 月	円
日常清掃	12 月	円
日常清掃	1 月	円
日常清掃	2 月	円
日常清掃	3 月	円

※上記金額に、消費税額及び地方消費税額を加えた額とする。（消費税額及び地方消費税額は消費税法第２８条第１項及び第２９条並びに地方税法第７２条の８２及び第７２条の８３の規定に基づき得た額である。）

月別支払額内訳書（令和 1 0 年度）

月 別		請負代金額（消費税抜き）
日常清掃	4 月	円
日常清掃	5 月	円
日常清掃	6 月	円
日常清掃	7 月	円
日常清掃	8 月	円
日常清掃	9 月	円
日常清掃	1 0 月	円
日常清掃	1 1 月	円
日常清掃	1 2 月	円
日常清掃	1 月	円
日常清掃	2 月	円
日常清掃	3 月	円

※上記金額に、消費税額及び地方消費税額を加えた額とする。（消費税額及び地方消費税額は消費税法第 2 8 条第 1 項及び第 2 9 条並びに地方税法第 7 2 条の 8 2 及び第 7 2 条の 8 3 の規定に基づき得た額である。）